３　道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

＜場の内容・ねらい＞

教科等
・ペアや班での話し合いや活動を仕組み、仲間に働きかけること、協力することが経験できるようにする。また、できた姿を価値付ける。

帰りの会
・「よいこと見つけ」の中から、当番活動や係活動についての内容のものを取り上げ、その姿や、その時の思いを具体的に紹介する。

【日常の活動】
〇朝の会
・班の中で係のめあてを決めることで、活動する内容を明らかにする。

〇清掃活動
・めあてを決めたり、掃除の場所や清掃方法を教えたりすることで、懸命に取り組む姿を生みだし、その姿を価値付けることができるようにする。

道徳の時間（９月）
「美しい山河を未来に」
内容項目　４－（２）
・自分の仕事や活動を行い、役割を果たすことが自分や周りの人の喜びにつながることに気付き、みんなのためになることを考え、進んで働こうとする心情を育てる。

学級活動（１０月）
「係活動を振り返ろう」
・「わたしたちの道徳」の「学校や学級でみんなのためにできること」（Ｐ．１３２）を使い、自分の取組の中で心がけていることや努力していることを記入する。

〇係活動
・班の中で分担をし、一人一人が取り組む内容を明確にすることで、責任をもって最後まで活動する姿が生まれるようにする。

＜児童の意識＞

・班での活動は、全員が参加できるように互いに声をかけ合ったり、うまくできるように協力したりすることが大切だ。
・自分の決められた仕事を精一杯することが大切なんだ。力を抜かないで取り組んでいこう。

・一生懸命に掃除することができて、気持ちよかった。
・掃除したところをほめられて、嬉しかった。これからも精一杯掃除しよう。

・デレーケさんは、水理工師として、自分にできることを考え、責任をもって最後までやり遂げた。そのことが、住民のためになり、彼らの喜び、自分の喜びにつながっていた。

・係活動にこれまで取り組んできて、自分が精一杯取り組むと、まわりの子が喜んでくれることが分かった。
・他にも自分がやれる係活動がありそうだ。自分からもっとやってみよう。

＜指導・援助＞

・係の仕事を通して、仲間へ働きかける姿があるか、またその声に応えようとする姿があるかを見届ける。また、その姿を価値付ける。
・班内で協力して声をかけ合う姿を見届け価値付ける。

・「よいこと見つけ」の交流以外でも、目立たないところで精一杯活動している姿を取り上げ、意欲を高める。

・働くことの意義が、自己の力を発揮することだけではないことに気付かせる。
・水理工師として住民のことだけを考え仕事している姿から、役割を果たすことがまわりの人の喜びや安心につながることに気付かせる。

・係活動に取り組む児童の意識を事前に把握する。
・自分の行っている活動が、まわりの仲間の喜びにつながっていることに気付かかせ、更なる活動の工夫へと結び付ける。